

ほくは ウクライナ戦争や他の各地で起こ  
 ている戦争をなくすために自分たちに出来  
 ることは、被害が起きている国にぼ金をする  
 ことです。ぼ金をすることによつて、けがを  
 したり、住む家をつしなつた人たちをしえん  
 するのためにぼ金をする。

なぜ戦争が起こるのか。ほくは、国と国の  
 争いだと思ひます。例えば日本とロシアが今  
 争ひ合つている北方領土問題が起こつてい  
 る問題や、他にはロシアとウクライナのち  
 問題などいろいろな問題がある。

戦争をなくすためには、国同士、不平等なく  
 一人一人が平等な暮らしが出来るとするこ  
 とが大切。一人一人の命を大切にしていかな  
 ければいけない。これからは、命の大切さを意  
 識しなから生活していきたいと思います。

ほくは、よくSNSなどでニースを見た  
りする人ですか、どこもツキくくくであって  
なりません。

SNSも本当のことをかいているさじもあ  
りますが、先日の神戸新聞の方の話聞いて  
家にある新聞を読んでも、SNSよりは  
難かしかつたですが、内容はSNSと今くち  
がいよし。今のウクライナとロシアの現状  
も新聞の方がよいくわしく説明されて分  
かりやすかつたです。

次に水曜日、神戸新聞の方が来てウクライ  
ナとロシアの戦争の話をしてくれました。  
ぼくは六年生の時戦争を学びました。その時  
に命の尊さ、戦争の悲惨さを学んでこの戦争が  
一刻も早く終わってほしいと願います。

新聞にっいで学校にきていただけあります。ぼくは新聞の事についてぼくは新聞は平和とかを伝えるために発行してはるんだなとあらためてしりました。それに説明してください。た人のおじいさんは重巡高雄の乗組員だったんですね。ぼくのおいさんは兄さんは戦闘機軍の飛行兵だったんです。乗組員だったという事はびっくりしました。ぼくは戦争について、一回「戦争ってなに」とかかんがえました。戦争は言い争いによってはつてんしたんだと思います。だから戦争をなくすためにはなかなかおりにしたらいいと、でもできなかったらやいあく、あれわれがデモをするかも、と思いきした。だからウクライナ戦争、いや地獄の戦争が早くあつてほしいです。学校にきてくださりありがとうございました。

わたしはお話をきいて日本でも戦をもつて

うしたくないと思いましたが。

なので戦争をおこなないようには戦争反対と

いってあげようと思いましたが。

これからももし日本が戦争になったら、たぶん

めんどくさいと言っている間かせます。

戦争はわたしたちが知っていろいろいふでも

戦争はよくない、戦争はよくない、戦争はよくない

と戦争をおそろしく思っている、戦争はよくない

戦争はよくない、戦争はよくない、戦争はよくない

戦争はよくない、戦争はよくない、戦争はよくない

今日、六時間目は、今起きている、ロシア  
 に対して、六時間目は考えました。  
 今、新聞の記事を見ました。今の新聞  
 は、ロシアに対してライオンの事だけ、一パ  
 ジをつけてしまっからいあることがわかりま  
 した。英語の授業の時、北川先生が、  
 「今、他の国の子どもたちの中、ご飯を食  
 べれるかわからない。いつ死んだか、わから  
 ない、子どもたちがいます。ほくは、飛行  
 機とがて日本の食べ物を送りたいけど、そ  
 れに毒が入ってると思われたりしたら、  
 意味ないし、飛行機をかりるが金も必要だし  
 ね、どう食べ物を送れば分らない。だから  
 助けがないね、という話がありました。  
 今のウクライナは、うまく生活できるところも  
 ないし、食料もあまりない、北川先生が言  
 ったとおり、どうやら、たらくウクライナに、支  
 援を送くれるのか、家族と話してみようと思  
 いました。

現在進行中でおきている戦争旧ソ連ロシア連  
 邦VSウクライナ(旧ソ連)のNATOをめぐる  
 戦い。その中でもまた、フエイクニッパ  
 プーチンが本当は平和を...のようなニコラス  
 SNSアプリではネットのおもちもになり  
 さがっているが、ウクライナ民からすればオ  
 ヲロシイ。ただそれだけ、とネット時代とな  
 った今、昔の新聞、テレビでは収まらない程  
 の情報量であふれこいる。新聞記者様の学習  
 と自分の今までの知識での受け取り方が前大  
 だ。  
 そして誰かが心の中で願う。それは「  
 平和」だ。彼、現ロシアの大統領プーチン日本  
 のしば下じ口ニア語で平和という言葉の意味のゆを  
 付けたもの。彼は今だが、自国ロシアの平和を  
 保つて約八十年前の悲劇のように今、ウクライ  
 ナは過去の日本のように多くの死傷者を出して  
 いる。  
 戦が意味なきことと分かってるもなお一度  
 決めたことをめらるゝと次に同じド

ぼくはこの前フワライナージュのこ  
 について学習した。ぼくはいろいろな話を  
 きはやく戦争がおわってほしいと思いまし  
 た。  
 さいさん ニュースや新聞をよくみる。ワ  
 ライナとロシアのことについて話してくれ  
 てください。たこがあります。それは、本  
 当はどちがわるのか、なぜ人の命をきせい  
 にまでして争いを続けるのか、ぼくはそれか  
 とも気になります。なにが理由で争いをし  
 ているのか、本当にそこまでする必要があるの  
 かをおたがいもう一度しかり考えてほしい  
 です。人が外にぶると殺されることもおそ  
 ろしい戦争が日本に起こるかもし水ないとい  
 うことを考えるとゾクゾクします。  
 どうか戦争がこれ以上おきないことをねが  
 い、自分の今できることを改めて考えたいで  
 す。

私がウクライナとロシアの戦争とどう授業  
も受けて思ったこと、ウクライナの大反目  
ロシアの人々にたくさん殺されて、その  
ことについてよく知れてよかったです。こ  
とです。それに加えてロシアの人はロシア政  
治に本当の事を教えてもらって、いなくて、今  
どのようになびきようなのかわかって、今  
いどいうことにとってもおどろきました。ロシ  
アのトが今のじょうぶさをよくわかっています。  
ないということは、ロシア政府がウクライナ  
を支配するがための戦争と、いって加えておかし  
なよした。  
私がウクライナとロシアの戦争を止めるた  
めにできることは、スーパーマーケットなど  
に行つた時、ロシアの製品を買わないという  
ことです。ロシアの製品を買わないことで、  
ロシアにはお金がなくななり、最新の成りなど  
が手に入らなくなるからです。私は、ウクラ  
イナの人がはやく平和な暮らしにもどれる  
ように、今できることを、そして、



今起こっているウクライナとロシアの戦争  
 についての一時間でぼくはとも考えさんら  
 れました。戦争を自分たちがでさることで  
 うすれば止められるかということについて何  
 回も考えましたが、一つくらいしか思いつき  
 ませんでした。それは、みんなでエールを送  
 るというものでした。  
 具体的に言うとしたら、みんなで言葉をリレーす  
 るというもので、これなら簡単ですぐに送  
 ることもできると思いました。それに、言葉  
 でなら、世界中に送ることができると思っ  
 た。かう、このことも考えました。  
 エールを送ったとしても戦争が止まるわけ  
 ではありませんが、ウクライナで苦しむ人  
 々少しでも助けられるかもしれないと思っ  
 ています。  
 このようなことをぼくは考えました。で  
 きればやってみたりもしたいです。と、かく、  
 ウクライナで苦しむ人々を少しでも助けよう  
 と、ぼくは思っています。